

成田空港「第2の開港」を支える
広域道路ネットワークの充実強化に関する
要 望 書

令和7年8月28日

成田空港「第2の開港」を支える広域道路ネットワークの充実強化に関する要望書

日本のゲートウェイである成田空港を核とする機能強化は、今後の日本全体の競争力を左右する国家プロジェクトであり、その効果を高めるためには、併せて、基盤インフラの戦略的構築が必要です。また、成田空港と羽田空港を首都圏空港として一体で捉え、互いに連携・補完していくことが大切であり、羽田空港や首都圏と成田空港をつなぐ広域道路ネットワークの充実強化が重要です。このことから、国、県等で構成する首都圏空港道路ネットワーク検討分科会において、「シームレスネットワークの実現」等の WISENET2050 の考え方も踏まえ、成田空港の機能強化の効果を広域的に波及させ、羽田空港との連携強化を図る広域道路ネットワークのあり方について検討を進めてきたところです。

これまでの検討を通じて、

- ・現状で、成田空港にアクセスする高規格道路は東関東自動車道のみであり、リダンダンシーを欠くとともに、通過経路となる京葉道路や国道357号を含め千葉県湾岸地域では、慢性的な渋滞が地域の社会経済活動に損失を与え、生産性を著しく損ねていること
- ・令和8年度には圏央道(大栄～松尾横芝)の開通が見込まれており、成田空港へ南側からアクセスすることが可能となるため、これを活かして、都心との複数のアクセスルートを確立し、賢く使うことが必要であること

等の課題が整理されるとともに、人口が集中し、渋滞が深刻化している千葉県北西部では、高規格道路ネットワークへのアクセス道路を含めた道路網全体の円滑化に向けた対策が必要であることが改めて認識されたところです。

つきましては、成田空港「第2の開港」を支える広域道路ネットワークを実現していくため、下記の事項について、特段のご配慮を賜りますよう、ここに要望いたします。

記

<高規格道路ネットワークの整備加速>

- 都心と成田空港を最短で結ぶ北千葉道路、渋滞が顕著な京葉道路を補完する新湾岸道路について、地域と意識を共有しながら、スピード感を持ち、有料道路事業を活用し、計画的・安定的に予算・財源を確保するなど、最優先でネットワーク形成を図るよう願います。

(北千葉道路の整備促進)

- 北千葉道路の事業化済み区間においては、速やかな用地取得を県と沿線市で最大限支援していくので、早期整備を図られたい。また、専用部には有料道路事業制度の更なる活用により、財源を計画的に確保するなど、整備加速をお願いしたい。
- 市川市から船橋市間の未事業化区間については、沿線市による地籍調査や県による用地の先買いの実施など事業実施環境を整えていくので、国による早期事業化をお願いしたい。また、国道464号の全線の直轄編入を図られたい。

（新湾岸道路の整備促進）

- 新湾岸道路の計画の具体化を図るにあたり、県・沿線市は、地域の理解が深まるよう、市民とのコミュニケーション活動に協力して、積極的に役割を果たしていくので、有識者委員会における助言等を踏まえ、概略ルートや構造の検討を進めていただきたい。
- 湾岸部の都県間についても検討を行い、計画の具体化をお願いしたい。

＜高規格道路アクセスの改善＞

- シームレスなサービスレベルを確保し、北千葉道路や新湾岸道路といった高規格道路ネットワークの効果を沿線地域に広げ、千葉港等の拠点アクセスの円滑化や高規格道路のインターチェンジ周辺一般道路における渋滞ボトルネックの解消が図られるよう、国において必要な支援をお願いしたい。とりわけ、成田空港及び周辺地域と圏央道を結ぶ新たなインターチェンジについては、早期の連結許可および新規事業化を併せてお願いする。
- 更に、千葉県の湾岸地域では、渋滞による時間ロスの割合は、全国平均 41%に対して、湾岸地域の道路は 51%と全国平均を大きく上回る状況となっている。これを改善するため、渋滞の著しい、国道 14 号、国道 296 号、県道船橋我孫子線、都市計画道路二俣高谷線などの対策を講じるため、早期に補助事業として採択するようお願いしたい。
- 加えて、現在事業中の国道 357 号の渋滞対策の推進及び（仮称）検見川・真砂スマートインターチェンジ事業の促進や都市計画道路磯辺茂呂町線、都市計画道路美浜長作町線、都市計画道路東習志野実籾線、都市計画道路菊田台谷津線などのインターチェンジへのアクセス道路についても着実に整備できるよう必要な予算の確保をお願いしたい。

＜圏央道・アクアライン軸の強化＞

- 成田空港と羽田空港を結ぶ新たな軸となる圏央道・アクアライン軸を強化するため、渋滞状況を監視し、圏央道の 4 車線化やアクアラインの 6 車線化など、機能強化に向けた検討をお願いしたい。

＜ネットワークを賢く利用する取組＞

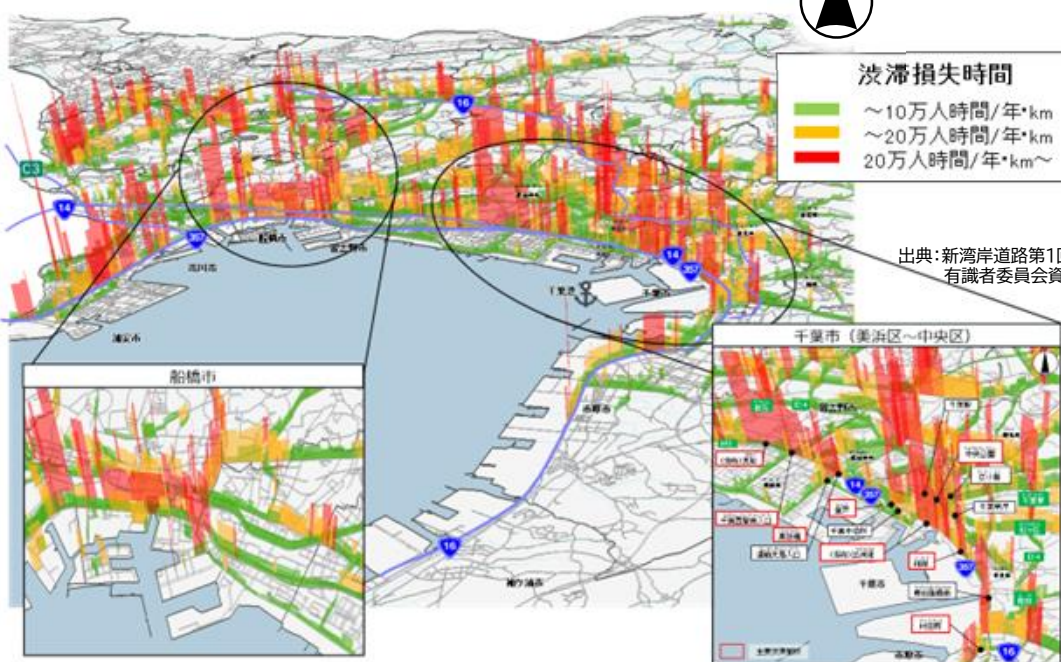
- 現在、首都圏空港道路ネットワーク検討分科会においては、既存ストックの有効活用として、料金施策による経路の平準化や、道路規格にあったパフォーマンスを実現するため、京葉道路などの高規格道路の規制速度のあり方など、ネットワークを賢く利用する手法についても有識者から意見がなされ、これらを踏まえた基本方針が検討されているところである。今後の基本方針策定とその実現に向け、特段の配慮をお願いしたい。

成田空港「第2の開港」を支える広域道路ネットワークの充実強化

第2の開港の効果を高めるためには、北千葉道路や新湾岸道路などの整備による、成田空港アクセスの抜本的な高速化・多重化や、千葉県北西部の渋滞解消を強力に進め、県内の広域道路ネットワークの次世代に向けた飛躍を図ることが重要

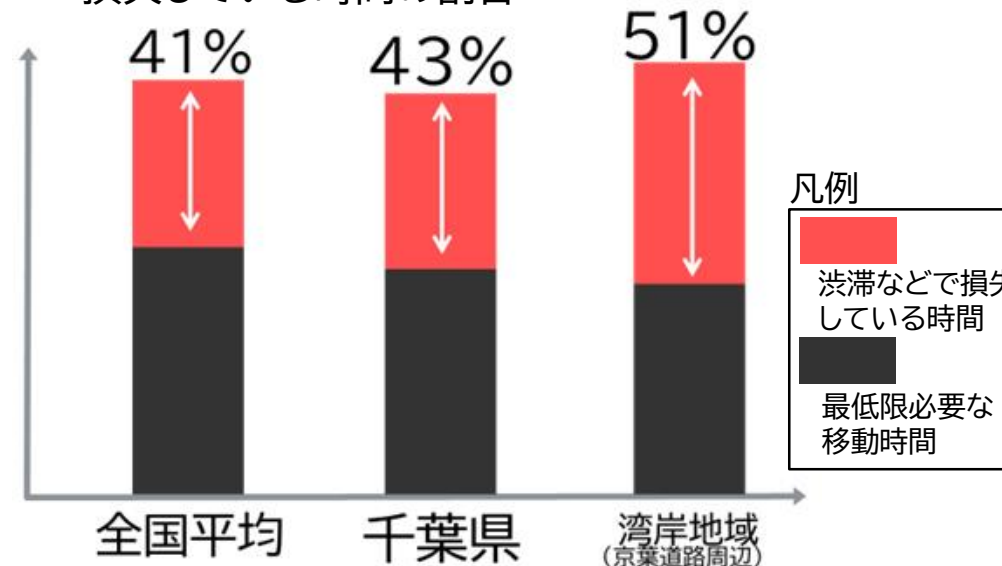
湾岸地域の渋滞状況

▼湾岸地域の渋滞損失時間



▼渋滞による時間ロス※の割合

※自動車の移動時間のうち、渋滞などにより損失している時間の割合



主要要対策箇所

国道14号、国道296号、県道船橋我孫子線、都計道二俣高谷線、都計道美浜長作町線、都計道東習志野実籾線、都計道菊田台谷津線 等

▼京葉道路の規制速度

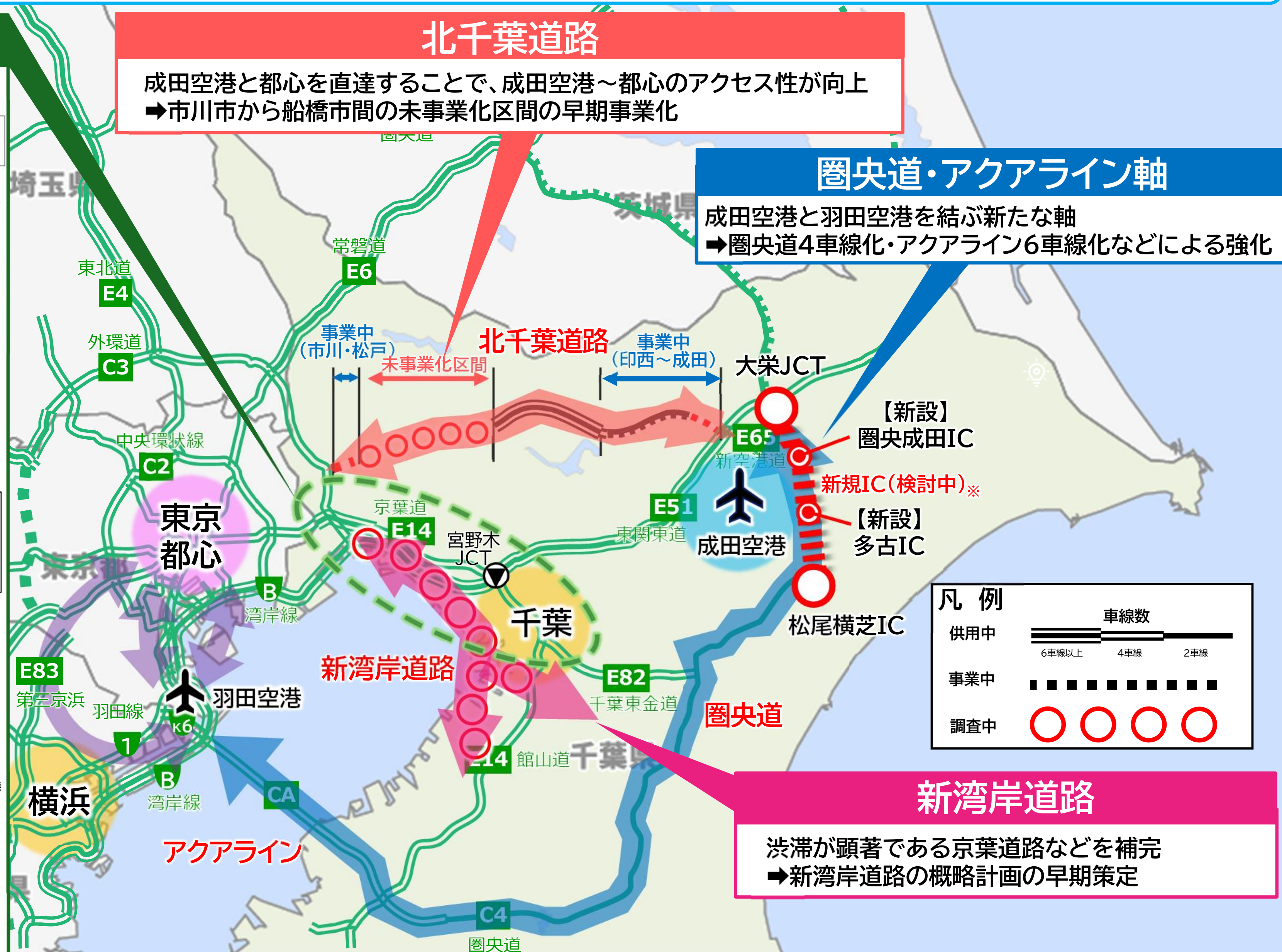


北千葉道路

成田空港と都心を直達することで、成田空港～都心のアクセス性が向上
→市川市から船橋市間の未事業化区間の早期事業化

圏央道・アクアライン軸

成田空港と羽田空港を結ぶ新たな軸
→圏央道4車線化・アクアライン6車線化などによる強化



※：新規ICについては、NAAとともに実現に向けて検討しているが、位置も含めて検討中であり、設置は未定

要望者一覧

千葉県知事

熊 谷 俊 人

北千葉道路建設促進期成同盟

鎌ヶ谷市長

芝 田 裕 美

市川市長

田 中 甲

印西市長

藤 代 健 吾

船橋市長

松 戸 徹

松戸市長

松 戸 隆 政

成田市長

小 泉 一 成

白井市長

笠 井 喜久雄

成田市議会議員

荒 木 博

白井市議会議員

伊 藤 仁

市川市議会議員

大久保 たかし

船橋市議会議員

岡 田 とおる

松戸市議会議員

渋谷 剛 士

鎌ヶ谷市議会議員

中 村 潤 一

印西市議会議員

近 藤 瑞 枝

新湾岸道路整備促進期成同盟会

千葉市長

神 谷 俊 一

市原市長

小 出 譲 治

習志野市長

宮 本 泰 介

浦安市長

内 田 悦 嗣

市川市長

田 中 甲

船橋市長

松 戸 徹

(令和7年8月1日現在)